

令和2年8月27日

東横野幼稚園
保護者様

東横野幼稚園
園長 中津瀬 隆

災害発生時（大震災を想定）の対応について

間もなく9月1日、関東大震災にちなんだ「防災の日」を迎えます。南海トラフ巨大地震の発生が懸念されている今日、安中市では、**震度5弱以上の地震発生を想定**し、各学校を通して家庭に基本的な対応の周知を図っています。

東横野幼稚園では、**新たに策定した災害発生時の対応を以下のように行います**ので、各家庭でご確認いただき、ご配慮方よろしく願いいたします。

記

【以前示した対応】

1 小規模な災害の場合

（園舎・園庭等の被害が少なく園児が園内にとどまれる場合、又電話、メール等の通信手段や交通状況に支障がない場合）

- 原則として、園児をグラウンドに一時避難させたあと、**園内に戻り**、電話・一斉メールで保護者に連絡し、お迎えを待ちます。
- 園バスは予定の時刻に、予定のコースで運行できる場合は運行します。
- バス運行の可否も電話・一斉メールでお知らせします。

2 大規模な災害の場合

（**震度5弱以上の地震等により園舎等にも被害が発生し**、電話・一斉メールの通信手段や交通状況にも支障がある場合）

- 原則として、一時避難したグラウンドから避難場所である**東横野公民館・東横野小学校に避難**しお迎えを待ちます。通信の手段は使えない可能性もあります。保護者の方は速やかにお迎えをお願いいたします。
- 園バスの運行は中止します。送迎途中の園バスは、できるだけ園に戻り、その後、東横野公民館・東横野小学校へ避難します。

3 その他

- 預かり保育でお預かりしている園児も、上記の対応と同じく行動いたします。
- 最後の園児が保護者の手に渡るまでは教職員が付き添っています**ので、ご安心の上、無理のない方法でお迎えにおいで下さい。
- 登園前に、**震度5弱以上の地震が発生し、緊急連絡ができない場合は休園**となります。園バスも運行しません。あらかじめご了承ください。

【今後、新たな対応】

1 甚大な被害を伴う災害が発生した場合

○東横野幼稚園は建設時から耐震設計がなされている園舎であるため、震度5以上の大規模な地震等が発生した場合、グランドへの一時避難後、**東横野公民館・小学校には向かわず、園舎に戻って保護者のお迎えを待ちます。**

(園舎が甚大な被害を受けた場合を除き、園舎に留まります。理由としては、公民館や小学校には一般の住民が避難してくることが予想され、70名もの園児が大勢に交じって一時避難するのは極めて難しいと考えられます。トイレは和式で数が少なく、シャワー施設もないため、普段生活している保育室で過ごすほうが子どもたちの安全確保や心理的安定により適していると判断しました)

○東日本大震災時では、電力が緊急停止してしばらく復旧しない事態が発生しました。大規模な災害が発生した場合、電話連絡や一斉メール発信ができないことも想定しています。その場合でも、**最後の園児が保護者の手に渡るまでは教職員がしっかり付き添っていますので、安心していただき、無理のない方法でお迎えにおいでください。**

○園バスの運行については、小規模な災害の場合には通常どおり運行し、お子さんを所定の場所にお届けします。電力が遮断され信号機が機能しない等、甚大な被害が発生している場合には、園バスは運行しません。送迎中に発生した場合には、できる限り園に戻ることを原則とします。

○預かり保育でお預かりしている園児も上記と同様の対応を行います。

○登園前に、**震度5弱以上の地震が発生し、緊急連絡ができない場合は休園**となります。園バスも運行しません。あらかじめご了承ください。

2 本園の防災に対する今後の対応

○コロナ対応により、集団で行う避難訓練は控えていましたが、2学期以降、3密を避けつつ実践的な避難訓練を実施する予定です。

○本園では、防災用品を若干量ストックしていますが、水や食料、冬季の暖房装置などについて、70名の園児すべてに対応できるだけの備品は十分ではありません。そこで、保護者のお迎えを待つ間に、園児たちが安心して過ごせるような防災備品の確保に努めていく所存です。